

# カヌー挑戦、真冬に転覆500回

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52)——草津市

## はい上がる人

### わたしの歩跡

△2年生だった1983年 校は1年生からやっているので

夏。退部した私立比叡山高校(大津市)硬式野球部が、2年連続

で甲子園切符をつかんだ

長瀬北との決勝を見に行っ

て、ショックのあまり立ち上が

れなくて。甲子園に出ると、中

学時代の仲間に「土ちゃん、野

球やってへんの」ってばれてし

まう。代わりに始めたスキーも

ばっとせず、野球に変わる自分

の存在意義も見つけられない。

△2年生の3学期早々の全校

朝礼だった

仲良くしていた一つ上の先輩

女性が「カヌーで世界選手権に

出られます」って壮行会で紹介

されたんですよ。「へ？ 世界

選手権？」すぐに飛んで行きま

した。カヌーで国体出られんや

るか」「競技人口も少ないし、

可能性はあるかも。ただ他の学

カナディアン(男子のみ)をやるか。「国体出やすいんはどっちですか」「うーん、カナディアンかな」

競技用のレーシングカヌーは水面の下は鋭角になっていて、「離すで」言ったらドボン!

1964年の東京五輪の選手だった吉尾詔二さん(故人)、裕子さん(現・京都・種知ジュニアカヌークラブ監督)夫婦を紹介してもらったんです。「Tシャツと短パンだけ持っておいで」って言われ、琵琶湖漕艇場(大津市玉野浦)に行つて。まずは座って漕ぐカヤックで、お母さん先生が「後ろ持っているから乗ってみ。離すで」。離れた瞬間、真冬の琵琶湖にどほん。ハアハア、がたがた震えて。野球体形のお尻がカヤックから抜けなくて「バランスが難しいけど、膝を片方立てて片方だけ漕



琵琶湖でたった1人の練習。奥は近江大橋

## 野球に代わる存在意義

1週間たったら体中あざだらけ。「ドンペイ君、続けるかあ?」「ここまで来たら続けます」

最初に先輩に聞いたら「3年生の7月に最後の県大会があつて、1位になった子だけ国体に出られる」って。今、2月やろ。

あと5カ月で乗れて、漕げるようになって、タイムを出せて、優勝せんと国体に出られへん。

「先生、どうやって乗れるようになるんですか」「毎日、落ちた数をノートに正の字で書いてみ。500くらいになったら、バランス取れるようになって、3000くらいで漕げるように

なるから」って。練習する浅瀬は三洋電機(当時)の工場前で、午後5時に工員さんが橋を渡って帰るんです。落ちると激しい音がするので、面白がって立ち止まって見られるんですよ。

500回ならへんうちに、膝立ててバランスを取れるようになっていたんですよ。「次は漕ぎ出すんや」って言われて。片方だけ漕いでどうやって前に進むのかと言うと、水面からパドルを出す瞬間にべっと外側にひねるんですね。英語の「みたいたい」。Jが効いてくると、真っすぐ進んでくれる。6月にはそれもできるようになって。平日は真っ暗になるまで練習して、土日は乗艇したら10キロくらい降りない。世界選手権を終えた先輩の早いカヤックに「一生懸命に付いていって。同志社大や立命館大のカヌー部に「入れたって」言つて、一緒に練習してタイムを測ったら、結構早いなあいう話になってきて。そして初めてのレースを迎えるんです。

△国体予選を兼ねた県民体育大会は7月に普段の練習場所の漕艇場であった。500回のカナディアンシングル(C1)に出場し、「確か8人(艇)」がスタート地点に並んだ

【エリア編集委員・大澤重人】

二つづく、水曜掲載



片膝を立てて、片方だけ漕ぐカナディアンカヌー

ドンペイさんがフェイスブックで発信し、コメントに返しい気持ちなら棄権したでし信じていま

「ゴールだけは」にエール

よう。学生時代と俳優

での奮闘ぶりを紹介した前回生活。同じように見えますよ」

は「ゴールだけさせてください」などのコメントが寄せられま

さい』は諦めない気持ちから

カヌーに打ち込んでいた当時。全身日焼けし、胸には「日本」の文字「大津市の琵琶湖漕艇場で、いずれも本人提供

